



**みぞぐち幸治**

みせます つたえます つなげます

**みぞぐち幸治事務所**  
〒868 0006  
熊本県人吉市駒井田町1952-34  
TEL 0966-22-5800  
FAX 0966-22-5802  
office@k-mizoguchi.com  
http://www.k-mizoguchi.com

角西港を含む「明治日本の産業革命遺  
また、荒尾市の万田坑、宇城市の三  
期待しています。

四月に行われました統一地方選挙、  
私にとつては五回目の選挙となりまし  
たが、お蔭様で当選させて頂き、県議会  
議員として四期目のスタートを切り、  
政治生活も十六年目を迎えています。  
これからも初心を忘れることなく行動  
してまいります。  
さて、これから熊本県にとって大きな  
チャンスが到来します。  
四月二十四日に「相良七〇〇年が生ん  
だ保守と進取の文化」日本でもっとも  
豊かな隠れ里「人吉球磨」が、日本  
全国から八十三件もの多くの申請が  
あつた中、第一回目の「日本遺産」認定  
十八件のひとつに選ばれました。これは、  
球磨人吉が、世界に誇る歴史文化の日  
本ブランドのひとつとして認められた  
証であります。  
今後は、この「日本遺産」認定をチャン  
スに、球磨人吉の貴重な宝である文化  
財を国内外に発信していくことで、地  
域の活性化にもつながるものと大いに

産」が七月五日に世界遺産に登録さ  
れました。  
来年度は天草の崎津集落を含む長崎  
の教会群とキリスト教関連遺産」の世  
界遺産登録が期待されます。  
さらに関係者のご努力により「20  
19女子ハンドボール世界選手権大  
会」ラグビーワールドカップ201  
9」が熊本県で開催されることが決定



4月3日/熊本県議会議員選挙4期目当選

**追い風を背に、さらなる躍進を！**  
地域資源を磨き、熊本の魅力を国内外へ発信

**活動 Photo ライブ!**



4月14日/当選証書授与式



4月1日/たばこ豊作祭り



4月4日/海棠まつり(石水寺)



5月30日/全国青年部長・青年局長 合同研修会



5月24日/織月まつり



6月7日/全国一斉街頭



5月21日/要望箇所視察(永野町)

**6月定例県議会最終日に国に対して7本の意見書を出すことを決定しました。**

1. 戦後70年の節目に未来志向の内閣総理大臣談話の発出を求める意見書
2. 地方財政の充実・強化を求める意見書
3. 認知症への取り組みの充実強化に関する意見書
4. ゆうちょ銀行及びかんぽ生命保険に関する意見書
5. 青少年健全育成基本法の制定を求める意見書
6. 小中学校教職員定数の適正配置及び改善を求める意見書
7. TPP協定交渉に対する意見書

**改選後の主な役職**

- 県議会
- 議会運営委員会副委員長
- 国際スポーツ大会推進特別委員会委員長
- 県議団
- 自民党政策審議会副会長
- 県連
- 自民党熊本県連政務調査会長代理
- 青年局
- 自民党青年局中央常任委員会議長
- 自民党熊本県連青年局審議役

してきます。  
そして二〇二〇年には東京オリ  
ピック・パラリンピックが日本で開  
されます。  
日本遺産、世界遺産に代表される熊  
本県のような地域資源をさらに磨き  
上げると共に、国際スポーツ大会を  
通しての大会開催や、キャンプ誘致に積  
極的に取り組み、球磨人吉地域をは  
じめ県内各地がさらに大きく飛躍す  
るチャンスとして生かし、「次世代に引き  
継がれる有形・無形の財産」を築いて  
いく四年間にしたいと考えています。  
そのためには政治・行政・競技団  
体・企業・学校など、広く県民の皆様  
との連携協力が必要です。政争を繰り  
返している暇などありません。  
熊本県の底力をみんなまで発揮させま  
しょう。

▼編集後記  
「叶えたくても叶えられないことがある。」元高校  
球児としては胸躍る季節になりました。過日、FNS九  
州8局共同制作の番組「背番号が欲しい〜高校野球  
女子球児の夏〜」で阿蘇中央高校野球部に所属する  
倉岡里奈さんのドキュメンタリーが紹介されました。  
高野連の規定で女子は公式戦へ出場することができ  
ません。背番号をもらう仲間ともらえない自分。里奈  
さんのノートには「私も背番号が欲しい」の文字が。  
最後の試合で声援を送りながらも、選ばれた人た  
ちは簡単に試合をあきらめないで欲しいと痛切に願  
う里奈さんの姿に心打たれます。今回の統一地方選  
では地方創生実現のために多くの政治家が選ばれ  
ました。課題は山積みですが、白球を追うことを簡単  
にあきらめない気持ちで実現に向けて努力していく姿に  
、市民の共感が生まれるような気がします。<K.T>

この会報のお問合せは  
**溝口幸治事務所**  
人吉市駒井田町1952-34  
tel 0966-22-5800  
fax 0966-22-5802  
http://www.k-mizoguchi.com  
E-mail:office@k-mizoguchi.com



発行 溝口幸治事務所  
記載責任者 富山孝治





0 人吉球磨地域の「日本遺産」認定

(1) 今後の県文化行政の位置付けと文化財の保存と活用

(2) 球磨工業高校のスーパースクールフェッショナルハイスクール(SPH)指定に向けた取り組み

溝口 「相良七〇〇年が生んだ保守と進取の文化」日本でもっとも豊かな隠れ里「人吉球磨」が日本遺産に認定された。今後は、人吉球磨の貴重な宝である文化財を国内外に発信し、文化財を活かすことが地域活性化のスタートになる。認定により、人吉・球磨地域の文化財の修復はさらに重要になり、球磨工業高校の実習の機会も増え、学びを深める契機にもなる。そこで、今後、日本遺産認定を今後の県文化行政にどう位置付け、人吉球磨地域の文化財の保存と活用に取り組んでいき、球磨工業高校のSPH指定にどう取り組むか、教育長に尋ねる。

教育長 日本遺産認定をスタートとし、今後の県文化行政の大きな柱の1つと位置付け、一層の取り組みを進める。また、未指定文化財の学術調査や市町村指定文化財の修

4 地域医療の充実

(1) 地域における産科医の確保

(2) 「熊本型」へり救急搬送体制の運用

溝口 県内の産科医は、十年前から二十三人減、約十五%も減少しており、緊急かつ抜本的な対応が必要。熊本市以外では、産科医療機関の閉鎖や産科医の高齢化が進んでいるが、地域の産科医確保の現状と今後の取組みを尋ねる。また、本県では防災消防へりとドクターヘリの2機のへり救急搬送体制だが、ドクターヘリは県内運航が原則で、他県の方が本県の医療機関を利用し高次医療機関に搬送する場合、本県に搬送されているが、他県では柔軟に対応している。また、病院間搬送の場合、搬送先と搬送元の医師がへり搭乗の医師を調整しているが、医師不足の地域では診療体制に不安が残る。運航開始から三年半が経過しているが、広域的運用や他県との連携等を健康福祉部長に尋ねる。

健康福祉部長 人口十万人当たりの産科医数は、熊本医療圏では十一人だが、阿蘇や上益城の医療圏では三人以下のため、地域医療介護総合確保基金を活用し、処遇改善や研修指導への助成を行っているほか、熊大の産科医を他病院に派遣している。へり救急搬送体制の他県との連携は、病院間搬



農林水産部長 円滑な事業収束に

理補助等、文化財の保存と充実に図る。文化財の活用は、記念シンポジウム等の事業が効果的に進むよう地元と連携する。SPH指定は人材育成の絶好の機会であり、保存修理等の実習を通じ、来年度指定に向け取り組む。

(3) 地方創生の観点からの活用

溝口 日本遺産の取組みは、我が国の文化・伝統を語るストーリーを日本遺産に認定する制度。世界に戦略的に発信し、地域の活性化を図るために創設された。今後、国は東京オリンピックに向けて、一〇〇件程度に増やす計画である。熊本県として、地方創生の観点から今回の認定をどう地域の活性化に活かしていくのか、企画振興部長に尋ねる。

企画振興部長 中世や近世の歴史の建造物等の地域の宝が脚光を浴びることで地域活性化や地方創生に大きく寄与する。県は、観光ルートの開発や滞在型観光商品開発の取組みを地域づくりチャレンジ推進事業により支援する。県の総合戦略においても、市町村の取組みについて、地方創

送を担う防災消防へりが対応しているが、今後は県境の地域におけるニーズにドクターヘリも柔軟に対応できるように、運用方法を検討したい。また、防災消防へりに搭乗する医師は、搬送先の医師が搭乗するよう改めて要請してまいる。

4 国営川辺川利水事業

溝口 川辺川利水事業は、三十二年が経過しているが、農家の方々は暫定水源の井戸水しか利用できず、国営事業を待ち望んでいた。国は平成二十六年度に事業を再開し、平成二十七年度に川辺川農業水利事業所を開設し、事業計画の変更に向け動き出した。しかし、受益農家の三分の二以上の同意が必要であり、事業収束に向けてどう対応するのか尋ねる。また、人吉市上原田地区のかんがい排水事業廃止後の新たな水手当対策を農林水産部長に尋ねる。

農林水産部長 円滑な事業収束に

生の観点から支援する方向で検討したい。

2 国際スポーツ大会の推進及び競技力向上

(1) ニーニ〇年東京オリンピックク・パラリンピックに向けた選手強化の取組み

溝口 「女子ハンドボール世界選手権大会」と「ラグビーワールドカップ2019」の二つのワールドクラスの大会が熊本で開催される。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ誘致は大きなチャンスとなる。県議会でも特別委員会を設置し、議会と執行部と一体となって取り組む。県にとつて身近で有意義な大会とするためには、県関係の選手の活躍が不可欠であるが、選手強化の取組みについて、教育長に尋ねる。

教育長 出場可能性のある有望選手を指定し、遠征費やトレーニングの経費を助成する取組みを進めており、オリンピックについては四十四人の中高生を指定し、日本代表に選ばれる選手が出た。パラリンピックは今後十六人程度の選手を指定し、育成強化する。競技力向上により、多くの県関係選手が大会で活躍できるよう取り組んでまいる。

(2) 今後の推進体制

溝口 「男子世界ハンドボール選手権大会」や「くまもと未来国体」

向けて、六市町村と協力し、土地改良法上の手続きの準備を行っており、法手続きが終わり次第、農地の手直し工事や農地造成団地の新たな水源確保が速やかに進められるよう働きかける。上原田地区の新たな水手当は、できるだけ早く事業着手できるように、今年度から基礎的な調査に取りかかりたい。

5 教科書採択

溝口 本年度は、平成二十八年度から使用する中学校教科書採択の年である。選定資料については、県議会が平成十七年三月に請願を採択し、私の質問に対応して市町村教育委員会に指導をされた。平成二十二年十二月議会でも質問を行い、採択基準は調査の観点が十観点と増加し、選定資料にも客観的な数値等も盛り込まれた。今回の選定資料の基となる採択基準の改善状況を尋ねる。今年四月には文科省から「平成二十八年度使用教科書の採択」の通知文が出され、今後市町村教育委員会等では、県作成の採択基準及び選定資料を参考に、八月末までに採択教科書を決定するが、適切かつ主体的な採択が図られるよう、県教育委員会として、どう指導・助言を行うのか教育長に尋ねる。

教育長 採択基準については、文科省がわが国の領土に関する教育や自然災害における関係機関の役割等について、学習指導要領

の際は、県庁内に局体制を整備している。両大会の成功は勿論、やっで良かった」と思える、記憶に残る大会とするためには、周到な準備や計画的な取組みが必要である。特に県内市町村との連携協力体制の構築が大会成功に向けての大きな課題だと考えるが、今後の推進体制及び市町村との連携協力について、知事に尋ねる。



知事 熊本を訪れる方々が夢や希望を感じ記憶に残る大会にし、出場選手には最上のコンディションを提供し、本県のイメージや認知度向上の取組みを進め、地域活性化に生かす。今月8日には、「くまもと国際スポーツ大会推進本部」を設置し、市町村説明会も開催した。来年度以降の体制は、具体的な実施内容を検討し、着実に実行できる体制を構築してまいる。

解説の一部改訂を行ったため、採択基準にその内容を新たに加えた。選定資料も分かりやすくまとめ、一層の充実に努めた。市町村教育委員会に対しては、市町村教育長会議等を通じ、指導・助言を行ってきたが、本年度は新たに各管内での説明会を開催し、採択関係者に対して、直接説明を行い、採択権者としての権限と責任のもと、適切かつ主体的な採択を行うよう指導・助言を行ってまいる。

6 サイバー犯罪対策

溝口 県下のサイバー犯罪検挙件数は、前年より三十五件多い百三十五件と増加傾向にあり不正送金事犯やスマートフォン普及に伴い、SNSや無料通話アプリなどを介した事件が多い。犯罪被害の未然防止の観点からも、警察や行政以外に、専門的知識を有する民間事業者の協力も不可欠。悪質・巧妙化するサイバー犯罪対策について、警察本部長に尋ねる。

警察本部長 昨年四月にサイバー犯罪対策課を新設し、委託研修の実施、資機材整備により対処能力の強化を図った。本年四月からはテクニカルアドバイザーの委嘱、ホワイトハッカーとの情報交換など、民間事業者の知見も活用している。また、金融機関との共同対処協定やボランティアグループとの広報啓発活動により、犯罪捜査と被害防止の両面から、総合的対策を推進してまいる。